

生命環境科学等技術室における教育支援業務

小崎 四郎

筑波大学生命環境科学等技術室

〒305-8572茨城県つくば市天王台 1-1-1

1. はじめに（業務体制）

筑波大学の生命環境科学等技術室では、教育および研究における技術的支援を主たる業務として、生物グループ、農林グループ、応生グループ、農林工学グループ、持続環境グループ、地球科学グループ、菅平高原実験センターグループの7つに分かれて業務を行っている（図1）。業務形態は、菅平高原実験センターグループを除く各グループでは、対応する専攻分野の教員に対する支援を専属の技術職員が行っており現在のところグループ間での業務のシェアは行われていない。

主として支援する教員組織は、以下の通りである。

- 生物グループ：生物学専攻
- 農林グループ：生物圏資源科学専攻
- 応生グループ：生物機能科学専攻
- 農林工学グループ：国際地緑技術開発科学専攻
- 地球科学グループ：地球環境科学専攻
地球進化科学専攻
- 持続環境グループ：持続環境学専攻

菅平高原実験センターでは、センター所属教員の研究・教育支援等の外に、研究機器等の維持管理に係わる技術支援を行い、センター利用者への支援や地域社会との交流を支えている。

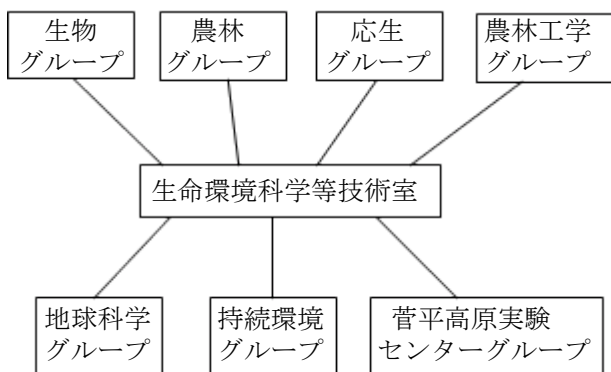


図 1. 生命環境科学等技術室業務体制図

2. 教育支援内容

生命環境科学技術職員の主な教育・研究支援業務は表1の通りであり、分野が多岐にわたるため幅広い領域にかかわっている。

また、各々が教育支援に必要とされる資格・免許を取得し、あるいは講習に参加して業務に役立てている。免許取得状況は次の通りである。

自動車運転免許（大型特殊）、第一種衛生管理者、一級家具技能士、二級建具技能士、危険物取扱者乙種、一般毒物劇物取扱者、特定化学物質および四アルキル鉛等作業主任者、石綿作業主任者、有機溶剤作業主任者、玉掛作業、ウインチ特別講習、電気工事士（第二種）、ショベルローダ運転技能、アーク溶接作業、防火管理者、刈払機取扱作業、ガス溶接講習。

生命環境科学等技術室では、経験を重ねて得られた技術力を基に、より質の高い業務を目指している。

表 1. 生命環境科学等技術室技術室業務

担当グループ	主な業務
生物	学類実習実験支援業務：学類実験室、実験機器、薬品・廃液管理、各授業の実験の準備等
農林	化学実験、農林生物学基礎実験、農林生物学実験、森林育成学実験、森林総合実習
応生	化学実験、バイオテクノロジー基礎実験、応用生命化学コース専門実験、応用生物化学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、実験器具メンテナンス
農林工学	環境工学基礎実験、森林総合実習、森林環境計画演習、生物材料加工学実習、生物材料学実験、測量学実習等の学生指導・補助等
地球科学	鉱物学実験、地球物質化学実験、人文地理学・地誌学実験、文化地理学実験実習
持続環境	教育機器の管理運営、他
菅平高原実験センター	実習等における教育活動、樹木の生長調査、積雪調査、他